

ひと ひと

女と男の情報紙

笑がお



新入園児ムーちゃんの写真

「ばあば、あのね。ムーちゃんがオシッコ行って帰ってきたら、みんながお茶を飲んで、ムーちゃんだけお茶が飲めなかったの。悲しくて、もう話せませんっ……ママに代わりたいです。」

涙声のムーちゃんから、おばあちゃんへの電話です。

この日は、ムーちゃんの三年保育の幼稚園が始まった日。

初孫ムーちゃんの様子が気かりで、おばあちゃんも朝からそわそわしていました。

ムーちゃんのママの説明では、元気に登園したムーちゃんが帰りにほしょんぼりした様子で、帰宅するなり「お茶が飲めなかった」と泣きだしてしまったそうです。

ママもまだ幼稚園ママになって一日目。

まだまだ先生とのやりとりに自信がなくて、相談すべきかどうか、判断がつかいません。

おばあちゃんは言いました。

「ママ、ムーちゃんが一番の味方はママなのよ。ムーちゃんを感じている不安は、ママ以外に誰も先生に伝えられないの。だから、ママも勇気を出して、先生に相談してみたら」

そして、次の日。ママが先生に、相談してみると、お茶を飲んでいたのは年長クラスさんで、年少のムーちゃんのクラスではなかったことが分かりました。

そして、先生は、お帰りの支度のできたムーちゃんをそっと職員室に呼んで、ムーちゃんにお茶を一杯飲ませてくれたというのです。

「ばあば！ムーちゃんね！お茶飲めたの！おいしかったよ！」

弾むような元気な声で電話をしてきたムーちゃん。

その顔には、とびきりの笑顔がありました。

みんなが笑顔でいられるために……

みんなが笑顔になる街づくり・地域づくりを

一緒に考えていきませんか？

イキイキ笑顔人

自分らしく
輝いている人見つけた。



ファイルNO7. ^{あきえだ}秋枝 ^{あき}顯 (周 顯旻) さん37歳

プロフィール：中国、湖北省武漢市出身。医師の父とエンジニアの母の次女として生まれる。大学卒業後、小学校教師などを経て、26歳の時に留学生として来日。その後、結婚。夫と5歳になる娘と3人家族。

楽しく中国語を学んで欲しい

中国語サークルの講師をしています。昨年の秋に開講した講座の生徒は8人程。会話を中心にした週一回の授業ですが、料理をしたり歌をうたって中国の文化を紹介する機会も時々つくっています。同じ中国でも、北と南では大きな違いがあって、いわゆる中華街の派手な装飾やこってりした味のイメージは北からのもの。私の故郷のある南では、言葉使いや料理の味付けが繊細で、随分趣きが異なります。サークルの皆さんには、中国語を楽しく学びながら、中国文化の奥深い魅力も知ってもらいたいと思っています。

安定した将来に息苦しさを感じて

私の故郷、武漢市は人口約890万人で、湖北省の中心となる大規模な商工業都市です。学校や働く場所も数多くある恵まれた環境ではありますが、何処に行っても必ず姻戚関係の誰かとつながってしまう息苦しさを感じていました。大学卒業後、小学校の教師や父の勤務する病院の職員として働きましたが、このまま故郷には決まりきった将来しかないように思えて仕方がありませんでした。そして、今の自分にしかできないことに挑戦したい気持ちが次第に強くなっていき、そのために海外留学を心に決め、選んだ国が日本でした。

自分で選んだ道を行く幸せ

留学生として来日して以来、日本での生活は今年で12年目になります。振り返れば、さまざまなことがありました。勉強しながらいくつものアルバイトをしたこと。国際交流イベントで出会った日本人男性と恋をして結婚したこと。子どもに恵まれ、しばらく夫の郷里で暮らしたこと。

日本留学、結婚、子育て……。

“すべて自分が選んだ道だから
楽しくて、幸せです！”

中国から来日して12年目になる秋枝 顯さんの特技は、周りの人とすぐ仲良くなれること。明るく元気な人柄と、細やかな気配りで人の輪を広げているようです。イキイキ「笑顔」のわけを語っていただきました。自分らしく輝いている人の笑顔っていいな……。

仕事の関係で何回か転居をせざるを得なかったこと……。困難もありましたが、一度もつらいとは思ったことはありません。自分で選んだ道を自分の力で進んで行けることほど、楽しくて幸せなことはないと思っています。だから何でも前向きに考えられる気がします。

例えば、引っ越したばかりの土地では、まず地元の日本語教室に通って、誰かと知り合うことから始めました。外国人同士でも、日本人スタッフとでも、そこから交流を始め、友人をつくっていきました。お互いに助けあえる人間関係は、とても大切なものだと思います。

将来の仕事に向けて通訳検定に挑戦

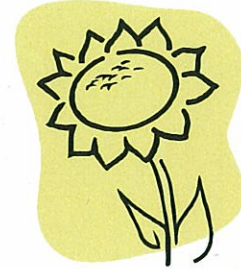
緑が多くて静かな雰囲気のある吉川が、たいへん気に入っています。転居などの手続きに市役所に行った際、案内係の方の親切な説明にとっても助けられたこともあって、最初からいい印象でした。子育てが安心してできる環境にも満足しています。私も何かできることはないかと思い、ファミリーサポートに参加しています。よそのお子さんを預かったり、娘をお願いしたりしながら会員同士もふれあえるので楽しいですね。子育てが一段落したら、今まで勉強したことを活かした仕事がしたいと思っています。昨年、通訳検定の準2級を取りました。できれば、社会貢献につながるものであれば、もっといいですね。

中国語サークル 於：市民交流センターおあしす
開催日：毎週金曜日・10時～12時
会費： 2,500円
問合せ： 945-2884 (秋枝)

柴野弁護士が答えるDV相談！

しばの法律事務所 柴野 和善 弁護士

www.shibano-law.jp



相談

DV被害の妻。生活への不安があって別れられない。夫は時には優しい。

私は40代の主婦です。夫は5歳上の会社員です。このごろ夫の会社の業績が悪く夫は将来を心配しているようです。

そのためか、私に八つ当たりをしてくるようになりました。それがエスカレートして暴力となることが多くなりました。最近は顔にあざを作って、しばらくは外出ができない状態でした。

でも暴力を振るったあとは涙して謝ります。そのときはこのままやれるかなと思います。時として恐怖を覚えます。

友人たちは別れることを勧めますが、ずっと家庭で主婦しかやってきておらず、社会に出て一人で働くことに大きな不安があります。これからどうしたらいいのかわからず悩んでいます。

回答

あなたの未来は、夫のものではなくあなたのものなのです。

DVには、暴力の予感を感じる緊張期、実際の暴力に至る爆発期、穏やかな時期のハネムーン期のサイクルがあるとされています。ハネムーン期で、夫が泣いて謝罪すると、もう一度やり直そうと思うこともあるでしょうし、経済的な不安などもあり、現状に思いとどまる気持ちが強くなることも理解できます。こうしたサイクルにより、あなたが、DVによって傷つけられた自信を取り戻し、自立する決心をするまでの気持ちの揺れも、何度も繰り返されていたことでしょう。

現状から抜け出した後の自立のための生活については、婦人（女性）相談所が配偶者暴力相談支援センターの機能を有しており、そうした機関で相談を受けてもらえます。また、離婚手続きの中で財産的な請求が夫に求められることもありますし、生活保護などの一時的な公的扶助を受けることもできる可能性もあります。

自分が決めた結婚ですので、別れることも自分で決める覚悟をするのも一つの考えです。お一人悩まずに関係機関や弁護士に相談してみてください。あなたの未来は、夫のものではなくあなたのものなのですから。

6月1日より吉川市配偶者暴力相談支援センター開設される！

配偶者等からの暴力防止及び被害者の保護をするため、吉川市配偶者暴力相談支援センターの業務が開始されました。あなたがあなたらしく生きられるように、夫、パートナーからのDVに悩んでいたら相談してみましょう。
相談受付日時：月～金（祝日、年末年始を除く）午前9時から午後5時まで

DV相談専用電話 ☎ 982-5968

- ・夫婦のこと、家庭のこと、仕事のこと、そしてあなた自身のことなどの女性総合相談の事前予約を受け付けます。
- ・毎月第2・4月曜日 午後1時から4時で市民交流センターおあしすで開催されます。

「男女共同参画推進市民企画事業の今後について」 市民参加推進課長に聞きました。

昨年度から始まった男女共同参画推進市民企画事業は、今後どのようなことを目指していくのかお話を伺いました。

「市民に事業を企画してもらうことは、行政とは異なった視点から様々なアイデアがだされるので、そのことに期待している。人材の発掘にもつながり、吉川市の街づくりにかかわってくれる市民が多く生まれることも期待している。

男女共同参画を目指すにはこれをしていけば間違いないというものではなく、いろいろな視点から取り組んでいく必要がある。市民が自分たちのやりたいことを男女共同参画推進市民企画事業に使って取り組んでくれると嬉しい」とのことでした。

お話を伺って、市民目線で市民が自分たちの企画をどんどん市民参加推進課に持ち込んでいくといいのではないかなと感じました。

掲示板

毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」として実施されます。

21年度の標語は、「共同参画 新たな社会の パスワード」に公募により決定しました。(宮崎県 和田 勉さまの作品)



男性と女性が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる

「男女共同参画社会」

その実現のためには 政府や地方公共団体だけでなく、国民のみなさん一人ひとりの取組が必要です。

私たちのまわりの男女のパートナーシップについてこの機会に考えてみませんか？

私たちの情報紙作成のお手伝いをいただける方を募集します。気軽に声をかけてください。

* 題字については、檜垣民子さんのご協力をいただきました。

発行 吉川市男女共同参画推進市民会議OB「笑がおの会」
問合せ 吉川市市民参加推進課男女共同参画・文化交流担当
〒342-8501 埼玉県吉川市吉川2-1-1
電話 048-982-9685 FAX 048-981-5682

